

知的財産を活用した社会課題解決 アイデアワークショップの開催

日時：2024年3月21日（木）14:00-17:00
場所：アーバンネット仙台中央ビル



特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

TECHSTA
MIYAGI

ワークショップ概要

特許庁I-OPENプロジェクトとテクスタ宮城の共催により、スタートアップを始めとする宮城県の企業や大学が生み出した知的財産から新たな社会課題解決のアイデアを生み出し、実現プランを策定するワークショップを実施します。

ワークショップでは、(株)知財図鑑が開発したAIを使用し、知財を元にした多様なアイデアを創り出す体験をしていただくとともに、テクスタ宮城とともに具体的な実現につなげるための企画を立案していただきます。

スケジュール・場所

2024年3月21日（木）

14:00～ ワークショップ

① 未来のアイデア出し

② アイデアの社会実装を考える

17:00～ 名刺交換会（1時間程度）

会場：アーバンネット仙台中央ビル

（宮城県仙台市青葉区中央4-4-19）

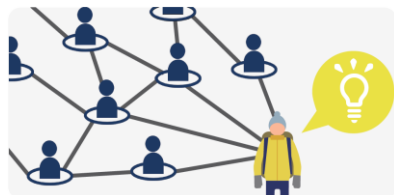


主催

申込はこちら⇒
定員：30人



特許庁I-OPENプロジェクト



特許庁が2021年に立ち上げた「知的財産を、企業や経済の成長のみならず、持続的な社会づくりへと活かすための仕組みをつくるプロジェクト」。社会課題解決を目指す企業・非営利法人を数多く生み出し、2023年にグッドデザイン賞を受賞。

テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城（テクスタ宮城）



テクスタ宮城は、産学官金が一体となり、県内ものづくり企業との連携による大きなシナジーが期待される東北大学発等のテック系スタートアップの成長支援を地域全体で進めることで、県経済の成長をけん引する新たな企業価値を創造していくことを目的に、2023年に設立した組織です。

問合せ先：

テクスタ宮城事務局（宮城県新産業振興課）

techsta@pref.miyagi.lg.jp

後援（予定）

知財
図鑑

(株) 知財図鑑



Development Bank of Japan

(株) 日本政策投資銀行

77 BANK 七十七銀行

(株) 七十七銀行（MAPP事務局）



テーマオーナー紹介



株式会社東北アグリサイエンスイノベーション 代表取締役社長 駒井 三千夫 氏

日本社会が抱える課題の一つ「健康寿命の延伸」に貢献するため、東北大学農学研究科の技術・ノウハウを実用化することを目指しています。

◎発明の名称：「加熱処理加工食品中のアクリルアミド低減方法」特許第5486079号（出願日：2011年6月21日）



株式会社ノースブル 仙台支店長 獣医師 渡部 一星 氏

信頼は技術からをスローガンに牛受精卵技術により乳牛から和牛を産ませることで畜産農家の収益課題を解決します。業界全体で不足する若手技術者の育成に注力しています。

◎発明の名称：「子宮頸管模型の製造方法、及び、子宮頸管模型」特許第7079537号（出願日：2021年12月7日）



ファイトケミカルプロダクツ株式会社 代表取締役CEO 加藤 牧子 氏

東北大発のスタートアップで、未利用の油資源の有効活用を通して資源循環型社会の実現と人々の豊かな暮らしに貢献することを目指しています。

◎発明の名称：「油からのビタミンE類の選択的な連続回収方法」特許第6256981号（出願日：2014年2月7日）



アルプスアルパイン株式会社

技術本部 技術企画室長・仙台開発センター(古川) センター長 横山 進矢 氏

車載・家電・モバイル・ゲームなど多くの市場でお客様に応える製品とサービスを提供するとともに、産業機械やIoTをはじめ新たな領域へチャレンジして可能性を広げていきます。

◎発明の名称：「発電機」特許第6198323号（出願日：2014年2月5日）



株式会社スマートハンドレッド 代表取締役 佐藤 實 氏

冷凍食品を急速解凍するスマート解凍機は、直前まで冷凍保存することで品質と安全性の高い食品をロスなく提供する現代社会に欠かせない技術と言えます。

◎発明の名称：「冷凍食品の解凍方法」特許第6446626号（出願日：2014年7月28日）

※記載している発明の名称は、今回のワークショップで取り扱うテーマです。

※申し込んだ皆様には、後日、メールにて参加決定のご連絡をお送りします。

※イベント当日は、インターネットに接続可能なパソコンをご持参ください（通信には、会場のWi-Fiを使用いただけます）。

